【魚（さかな）好（ず）きのあなたへ】

さかなクン

めずらしいウミヘビちゃん！

「おーい！　目が前の方についているアナゴがとれたんだけど、なんだかわかる？」

お電話をくださったのは、長年のお魚仲間で鹿児島県・徳之島の天城町地域おこし協力隊商工水産観光課の益子正和さんでした。

さかなクンが「ピン！」ときたのは2種。一つは、深海魚で有名なボウエンギョちゃん。もう一つは、タツウミヘビちゃんです。

ボウエンギョちゃんは、目は思いっきり前についているのですが、体はアナゴちゃんの仲間ほど長くはなく真っ黒で、ものすっギョいお顔をしています。すぐに「深海魚!!」とわかるので、ちがうと思いました。

タツウミヘビちゃんは、パッと見ためはアナゴちゃんの仲間に似ています。ところが、口がとっても大きく、するどくとがったキバのような歯が並び、目は前の方についています。益子さんに、「タツウミヘビだと思います！」と、お伝えすると、「正解！」とお返事が来ました。

え!?　これクイズだったの??

なんと、別の魚類学者にも問い合わせて、タツウミヘビということがわかったそうです。国内で4例目の貴重な記録ということで、福岡県の北九州市立いのちのたび博物館に寄贈されることになったそうです。

小学生がすギョい発見

タツウミヘビといっても、猛毒を持つことで知られる、は虫類のウミヘビの仲間ではありません。アナゴちゃんの仲間やウナギちゃんの仲間と同じウナギ目です。タツウミヘビちゃんをふくむウナギ目ウミヘビ科の仲間は、世界中のあたたかい海におよそ数百種いて、そのうち日本の海には60種あまりが知られます。

千葉県館山市にあるさかなクンのフィッシュハウスにも、2匹のかわいいウミヘビちゃんがいます。ダイナンウミヘビちゃんです。近くの海で、海面をクネクネと泳いでいるところを見つけました。いまは40センチほどの大きさですが、長い長〜い体で、2メートルほどになることもあるそうです。

ウミヘビちゃんの仲間は、ドリルのようにとがった尾で砂や泥の中にスルスルスル〜ッともぐります。そして、お顔だけ出しています。小さなお魚などが近づくと大きなお口でパクッととらえて食べちゃいます。夜行性で、暗くなると全身を出して泳ぎます。

鹿児島県のタツウミヘビちゃんは、砂浜に打ち上がっているのを小学3年生の女の子が見つけたそうです。小学生の大発見！　すギョいですねー!!

ちなみに、以前、漁師さんからいただいた大きなダイナンウミヘビちゃんをお料理して食べたことがありますが、かたい骨が多くてチクチクしてとーっても食べにくかったです。

益子正和さん撮影

尾の先はとがっています

▲さかなクンのフィッシュハウスでくらす、ダイナンウミヘビちゃんたち

ホタテクミヘビ

▶ウミヘビちゃんの仲間たちは、このように砂やどろからピョコンと顔を出します

さかなクンへの伝言板
フエヤッコダイ
ヒメ
ヒメ
ヒメ